

器51 医療用嘴管及び体液誘導管
一般医療機器 排水バック 70308000

F S排水バック (排水バック/閉鎖式排水バック)

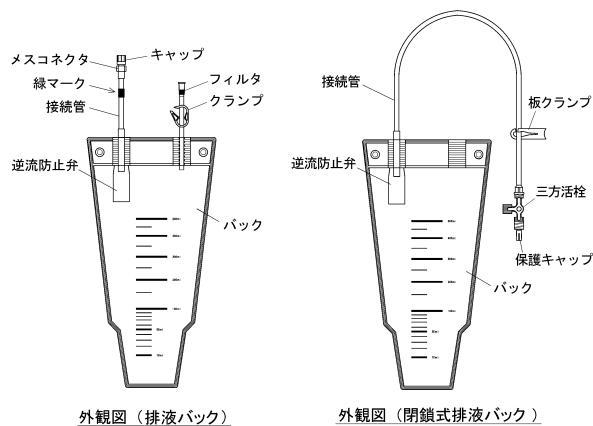
再使用禁止

【禁忌・禁止】

1. 使用方法
 - 1) 再使用禁止

【形状、構造及び原理等】

1. 排水バックは、脳神経外科用のドレナージ回路を介してドレナージチューブと接続して使用する、開放式の排水バックである。逆流防止弁を具備しないタイプ(排水バック(弁なし))もある。
2. 閉鎖式排水バックは、脳神経外科用のドレナージチューブと直接接続して使用する、閉鎖式の排水バックである。
3. 本品は、ポリ塩化ビニル(可塑剤：フタル酸ジ-2-エチルヘキシル)を使用している。



外観図 (排水バック)

外観図 (閉鎖式排水バック)

【使用目的又は効果】

本品は、ドレナージチューブに接続し、血液等を除去する際の排水バックとして用いる。

【使用方法等】

1. 操作方法

本品はディスポーザブル製品であり、一回限りの使用のみで再使用できない。
2. 一般的使用方法

〈排水バックの場合〉

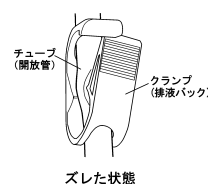
 - 1) メスコネクタのキャップを取り外し、破棄する。
 - 2) 本品の接続管(緑マーク)をドレナージ回路の接続管と接続する。

〈閉鎖式排水バックの場合〉

 - 1) 三方活栓の保護キャップを取り外し、破棄する。
 - 2) 本品の接続管をドレナージチューブと接続する。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意
 - 1) ドレナージ中の接続管は開放状態とし、検査等で患者を移動させる際にはクランプで閉鎖状態とすること。
 - **2) 開放式の排水バックのクランプは、チューブ(開放管)からズレないように(チューブ(開放管)に対して平行となるよう)確実にクランプし、クランプ後の患者移動に際してもズレが生じていないことを確認すること。[クランプのズレは、排水の漏れやフィルタ汚染の原因となる]
- 3) ドレナージ回路又はドレナージチューブとの接続は、無菌的に操作すること。
- * 4) 本品はMR Safeであり、一般的なMR検査による影響はない。[自己認証による]



ズレた状態

2. 不具合・有害事象

本品の使用に際し、以下のような不具合・有害事象が生じる可能性がある。

 - 1) 重大な不具合
 - ・ 屈曲による接続管の閉塞
 - 2) 重大な有害事象
 - ・ 逆行性感染

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

水濡れに注意し、高温、多湿な場所及び直射日光を避けて、清潔な状態で保管すること。
2. 有効期間

使用期限は製品ラベルに記載。[自己認証(当社データ)による]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元 富士システムズ株式会社
TEL 03-5689-1927